

NPO法人社会還元センター グループわ 会報

情報ぎゃらりー

第29号

情報ギャラリー第29号

発行日 2005年1月28日

編集 グループわ 広報部

発行者 赤司 松美

発行元 NPO法人社会還元センター
グループわ

TEL(078)743-8101 FAX(078)743-8103

Eメール group_wa@wa-net.jp

ホームページ http://www.wa-net.jp

2005年の年頭に当って

理事長 赤司 松美

グループわ 及び会員の皆様の更なる飛躍と健康を祈念し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素はグループわ の活動、運営にご理解とご協力を賜り、役員を代表し厚く感謝申し上げます。

お陰様でNPO法人としての自覚と責任ある会員の皆様の活動により内外の信頼と期待が高まっております。その期待に応え、更に充実した活動を会員の皆様と共に目指してまいりたいと決意を新たにしているところであります。

年頭に当たり17年度に向けて下記、当面処置すべき課題と対応方針について触れ、そのご理解とご協力をお願い申し上げます。



1. 新会員の入会案内と募集、受付の内容及び体制の確立

事務局を中心に立案し企画委員会、運営委員会の審議及び協力を得てより効果的にタイミング良く、新規会員の入会獲得を目指し努力します。

2. 来期役員人事の選考と早期役員候補者の擁立

本部役員退任者補充を含め人選し2月初めより交渉し3月末までに本部役員(理事、監事)内定を目標とします。部会、地区会役員についても3月末内定目標で擁立を図り、名実ともに実行力があり、希望のもてる人選を幅広く求め確立したい所存であります。会員の皆様の推薦をお待ちしております。

3. こうべ環境未来館の継続受託体制の早期確立

昨年6月受託開始以来今日までの管理運営業務については、行政及び市民の評価も高く、これは一重に委託業務関係者の責任感と努力の賜物と感謝しております。

17年度も継続受託を目指し、更に充実した業務内容とレベルアップを目指し、新規希望者を含めて3月中旬を目途に受託体制を確立し、継続受託に全力をあげて取り組む事と致します。又16年度業務報告書の作成に関係者の協力をお願いします。

4. 来年度助成金申請の推進

助成金は大事な収入源であり活動を活性化してくれます。16年度は本部として4件、総額にして会費を上回る約2百万円の助成金を取得できました。

3月までに来年度の申請が集中します。情報入手及び助成金申請期限に留意し16年度を上回る取得額を目指して申請書提出に努力します。

5. 16年度助成金受託事業の完遂と報告書の提出

取得した助成金事業を申請内容に従い完遂し、決められた書式により正しく記載し報告することは、今後の助成金取得に大きく影響します。3

月までに予定している行事完遂について関係者の協力をお願い致します。又報告書は2月中より準備に入り行事終了の3月半ばより集中的に行い4月中の期限までに提出致します。

6. 会員相互扶助システムの検討と発足

昨年の総会議決により本件検討のための検討委員会を設置し目下検討中であります。前回の情報誌による会員のアンケートの結果を反映したシステムの構築を目指して鋭意検討を加え運営委員会で審議後、来る総会の行動方針の中で審議を頂き、議決後発足できるよう努力する予定であります。

7. 事務所賃貸契約及び運営委員会の承認推進

法人格取得により法人としての履行事項を整理し問題なきよう処置しております。

残るのは神戸市と活動拠点である現事務所の法的な賃貸契約であります。

カレッジ事務局を通じ神戸

市と交渉を開始したところであります。グループわ の設立経緯及び活動内容、カレッジとの関係については市当局も理解しており、契約に際して何らかの配慮ができないか検討中と聞き及んでいます。

これからも今までの経緯を考慮した賃貸契約ができるよう関係先にお願ひし、内外共に認められた活動拠点をしっかりと確保する交渉を推進し、運営委員会の承認を得て後顧の憂い無きよう正式契約を行いたい所存です。会員皆様の御理解を特にお願ひ申し上げます。

8. 総会の準備推進

次期役員人事・予算・活動方針など企画委員会と運営委員会で十分審議した上で充実した内容のある議案を早めに提案し、できるだけ事前に検討可能な状態での総会にしたいと早期準備に取りかかります。

活動方針策定についてはマンネリになりがちな活動を生き生きした発展的な活動となるよう新役員候補者も入れて幅広く可能性を求めて部会、地区会とも活発に議論し策定できればと願っています。

会員の皆様1人1人が生きがいと喜びをもって社会還元に寄与される事を願ひし、山積する課題に関係者の協力を得て微力ながら誠意を持って遂行し内外の期待に添えるよう努力する所存です。どうぞ本年も御理解と御協力、叱咤激励をお願い申し上げます。